

# 太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2024. 10

## 飲む、打つ、買う



薬局のお客様に【漢方ヨガ】の素晴らしさをお伝えするようになってもうすぐ1年となります。写真は40代の男性。毎月2回、“修行”にいらしています。尋ねてみました。「漢方ヨガの魅力は？効果は？」

「自分に集中することができるようになりました。いつもあれこれと考え過ぎていましたが、職場や家族との人間関係の中で、冷静に落ち着いてコミュニケーションがとれるようになったと感じています。気づいたらストレスが減っていました。漢方ヨガの効き目だと実感しています。嬉しい感想をいただきました。

大酒を飲み、博打（ぼくち）を打ち、女を買う。  
およそ昭和時代までの、そんな男の道楽が「飲む、打つ、買う」。

いや、それは令和の今でも続いています。昔の「飲む、打つ、買う」は、  
今では「アルコール依存症・ギャンブル依存症・性依存症」と呼ばれ  
それらは自分では制御できない病気（依存症）と定義されています。

ほどほどに、家族に迷惑をかけない程度に、健康を損なわない程度に  
どうしてそれらができないのか？（買うは論外）  
「わかっちゃいるけどやめられない」という習慣は、いったいどこから  
来ているのか？

毎日の生活の中で、肉体的精神的にストレスをため込み、もう限界、もう  
無理となった時、人は誰でも「快樂」を求めるものです。  
苦しみから逃れたい、でも逃れるわけにはいかない・・・辛い我慢の生活  
に起因するストレスを手放せないから快樂に走る。

快樂を求める先には「落とし穴・罠」がある。一昔前はそれが「飲む、  
打つ、買う」だった。罠はおよそ3つしかなかった。しかし令和の今、  
それはたくさん用意されています。

その代表的罠が

「スマホ」「ゲーム」

「スイーツ」「スナック菓子」「ジュース」

そして

「薬」

ハマると、取り返しのつかない状態になってしまいます。  
健康もお金も希望も、すべて失ってしまいます。

誤解を恐れずに言えば、世の中で売れている物は、購入者を依存させる商品が大半です。脳の快樂報酬系を刺激して、購買意欲を刺激続ける。

「安くて早く快樂が得られる甘い味」。それはよく売れる。

逆に「高くてすぐに効果が得られない苦い味」。それが漢方薬。  
だからなかなか売れないんだ・・・😞

依存することは悪くはありません。何に依存しているか？が重要です。  
それが根本からの問題解決につながっているかどうか？

しかし現実には、搾取され、心身の健康を損なっている人たちが多い。  
依存させて自立に導くのではなく、依存させてさらに依存させる。

それが薬の依存症（薬物依存症）。その代表が  
鎮痛剤、睡眠薬、精神安定剤。

血圧を下げる薬、コレステロールを下げる薬、血糖値を下げる薬。  
それらも「飲まない不安」という依存心を患者に作り出しています。  
そうした薬を長年続けて飲まなくても済むような心身の状態に導くとい  
う医療ではありません。「薬漬け医療」と揶揄される所以です。

心気症（しんきしょう）と言う病名があります。  
胃が痛いから胃がんかも？ 動悸がするから狭心症で突然死するかも？  
症状をすぐに重篤な病気と思い込んでしまう心の病です。  
病院で検査を受けて異常なしと言われても、それに安心できずに別の病院  
を訪ねては検査を受ける。その行きつく先は「病院（検査）依存症」。

ではどうすれば依存症とは無縁の心身の健康をキープできるか？  
メディアからの大量の情報に“溺れない”生活習慣を心掛けることです。

表紙の2名の男性は、「飲む打つ買う」の快樂に溺れないように、  
【漢方ヨガ】を習慣にして、常に自分を整えています😊😊

ところで「打つ」と言えば、あなたは何回打ちましたか？  
いつまで「打つ」おつもりですか？  
何種類「打つ」おつもりですか？

先の総理大臣が打っているから  
自分も打つのですか？  
(裏金問題で逃げ切った男なのに)



みんな打っているから自分も打つ。  
そのみんなの行動は  
本当に正しいのでしょうか？

今秋から始まる新薬「レプリコンワクチン」。  
アメリカで製造され、ベトナムで治験され、それがなぜか世界中で  
「日本人だけ」に打たれる。

「日本がそれだけ優遇されているんだ！」＼(^o^)/  
それは甚だ稚拙であり、すでに洗脳されているかも。

国や医者から「打ちましょう」と言われて、それを信じて疑わずに  
打っている日本人たちは  
もはや

## 「ワクチン依存症」

かもしれません。

依存を育てるものは

## 「不安」「恐怖」。

ニュース見聞も  
ほどほどに。

